



Windows ホストに **Snap Creator** サーバをインストールする Snap Creator Framework

NetApp
January 20, 2026

目次

Windows ホストに Snap Creator サーバをインストールする.....	1
コマンドプロンプトからサーバーを起動します	3

Windows ホストに Snap Creator サーバをインストールする

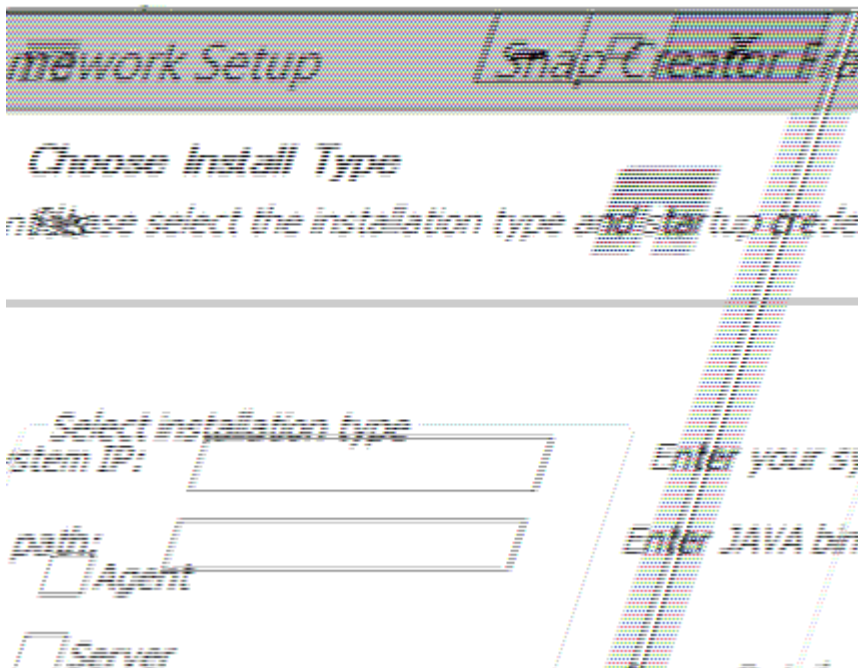
Windows インストーラを使用して、Snap Creator サーバを Windows ホストにインストールできます。

- JRE 1.8 Update 72 以降がインストールされている必要があります。
- インストールを実行するユーザには、インストールを実行するための管理者レベルの権限が必要です。
- Snap Creator サーバのデフォルトのポートは 8443 である必要があります。

netstat または類似のツールを使用して、使用するネットワークポート（ポートで HTTPS がサポートされている場合）が使用可能であり、まだ使用されていないことを確認できます（例：Windows : netstat -na|find "8443 "`）。

- Snap Creator をダウンロードしておく必要があります。
 - a. Snap_Creator_Frameworkrelease-Windowsversion.exe ファイルをダブルクリックします。

Snap Creator インストーラを起動するには、SnapCreator_Framework4.1.0 -Windows64.exe を使用します。
 - b. Welcome（ようこそ）ページで、* Next（次へ）* をクリックしてインストールを開始します。
 - c. ライセンス契約の条項を読み、同意します。
 - d. [インストールタイプの選択*] ページで、さまざまなインストールタイプに合わせて設定を変更し、[次へ*] をクリックします。



- * インストールタイプ * を選択します

「* サーバー *」を選択します。Snap Creator サーバと Snap Creator エージェントは、両方とも

同じシステムにインストールすることができます。

- * サービスとしてサーバーを起動 *

このオプションを選択すると、インストール処理の完了直後に snapcreatorserverservice サービスが自動的にインストールされて開始されます。選択されていない場合、* サーバーポート * フィールドは無効になります。



このオプションを選択しない場合、サービスはインストールされないため、コマンドプロンプトからバッチスクリプトを実行して Snap Creator サーバを手動で起動する必要があります。

- * システム IP を入力します *

Snap Creator サーバまたは Snap Creator エージェントがインストールされているシステムの IP アドレスを指定する場合は、このオプションを選択します。このオプションは、Snap Creator のインストール時に SSL 証明書を生成する場合に使用します。

- * Java bin path * を入力します

keytool ユーティリティを見つけるための Java ビンパスを指定するには、このオプションを選択します。keytool は、Snap Creator のインストール時に SSL 証明書を生成するために使用します。

- * サーバーポート *

デフォルトのポート 8443 を受け入れるか、ポート番号を指定します。

e. [* プロファイル設定 *] ページを設定し、[次へ *] をクリックします。

Profile Setup * ページに入力した情報は、Snap Creator の GUI に必要なプロファイルを設定するために使用されます。

- * ストレージコントローラのシリアル番号 *

このパラメータはオプションです。いずれかのストレージコントローラのシリアル番号を入力します。この情報を入力すると、コントローラのシリアル番号が Snap Creator のプロパティファイルに組み込まれ、サポートとログの出力に含まれます。この情報は、今後発生する問題のトラブルシューティングに役立ちます。

- * ユーザー名 *

Snap Creator サーバの管理者の名前を入力します。

- * パスワードと確認 *

Snap Creator サーバ管理者のパスワードを入力します。

- * ジョブモニタを有効にする *

ジョブ監視を有効にする場合は、* ジョブ監視を有効にする * チェックボックスをオンにします。ジョブモニタは、Snap Creator によって実行されるすべてのジョブおよびジョブのステータスを監視する GUI 内の個別のセクションです。

・ * ジョブログサイズ *

ジョブログの履歴に保存するジョブの数を入力します。デフォルトは「100」です。サイズは1～1000です。



ジョブログサイズ * に指定できる最大値は 10、000 ですが、最大値として 1000 を指定することを推奨します。

- [Choose Install Location] * ページで、Snap Creator のインストールパスを入力するか、デフォルトのオプション（C : \Program Files\NetApp\SnapCreator\Framework）を受け入れ、[Next] をクリックします。
- [スタート] メニューから [フォルダ ...] を選択し、Windows の [スタート] メニューに Snap Creator が表示されるフォルダをカスタマイズするか、デフォルトのフォルダを選択して、[* インストール *] をクリックします。
- インストールが完了したら、「* 次へ *」をクリックします。

インストールオプションでサービスを選択した場合は、Snap Creator サーバのサービスインストール時にコマンドプロンプトが表示されます。このプロセスは既存のサービスの開始を試みます。そのため、この手順の一部としてエラーメッセージが表示されることがよくあります。

- [完了] をクリックして、Windows インストーラを閉じます。
- 指定したポート上のローカルホストに移動して、Snap Creator Framework の GUI の起動を検証します。

HTTPS を使用して接続する必要があります。接続が HTTPS 接続に自動的にリダイレクトされず、GUI が機能しません。

・ 関連情報 *

[Snap Creator ホストに Java をインストールしています](#)

[Snap Creator ソフトウェアのダウンロード](#)

[コマンドプロンプトからサーバーを起動します](#)

コマンドプロンプトからサーバーを起動します

バッチスクリプト（scServer.bat）を実行して、コマンドプロンプトから Snap Creator サーバを手動で起動することができます。

通常、インストール時に [サービスとしてサーバーを開始] オプションを選択しなかった場合にのみ、この手順に従う必要があります。

また、Windows タスクスケジューラを使用して、起動時に実行するバッチスクリプト（scServer.bat）のスケジュールを設定することもできます。Windows タスクスケジューラの使用の詳細については、Windows オペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

バッチスクリプト（scServer.bat）は Snap Creator をフォアグラウンドで実行するため、コマンドプロンプトが開いているかぎり、Snap Creator サーバは実行を継続します。コマンドプロンプトを閉じると、Snap Creator サーバが終了します。バックグラウンドで実行するには、Snap Creator サーバサービスを使用する

必要があります。

1. コマンドプロンプトを開き、次のコマンドを入力します。

```
cd \install_path\scServerrelease-version\bin\  
scServer.bat start
```

```
cd \Program Files\NetApp\Snap_Creator_Framework\scServer4.1.0\bin\  
scServer.bat start
```

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。